

学校番号	38 中1	学 校 名	県立清水南高等学校・同中等部	校 長 名	秋本 太一郎
------	----------	-------	----------------	-------	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	中高一貫教育校にふさわしい教育課程の検討、授業改善及び学習指導の充実を図る。	「授業がわかる」と答える生徒の割合：中等部 80%、高校 80%	中：87.9% 高：79.4% 高2、3年は80%を超えている	B	授業見学の機会設定や授業リサーチを行い、見直しに係るデータを提供しあえた。授業公開週間での授業改善について議論しあう場・時間を、確実に確保しなければならない。
		週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合：中等部 80%、高校 80%	中：86.8% 高：76.6%	B	中等部は「My Minami Life」高校はシステム手帳「スコラ」を活用し、家庭学習の習慣が定着した生徒が増加した。今後はいかにして時間の活用の見直しをしていくかが課題である。
		校内演奏会、公開レッスン等実施回数：年間計12回以上 美術鑑賞、実技講習会等実施回数：年間計10回以上	音楽：11回 校内8回、校外2回、公開レッスン1回 美術：10回 コンクールやクロッキー、立体制作等幅広く実施した。	A	音楽：校外の2回の演奏会も中高生の鑑賞者が増え、生徒運営のコンサートとして日ごろの研究・練習の成果が発表でき有意義であった。美術：美術展への中高生の鑑賞者が増え、特別実技補習に中等部生の参加が増加した。浜松江之島高校との合同デッサン会も継続開催した。
イ	こころざしを育むための進路指導の充実を図る。	四年制大学への実合格者の割合：普通科 90%以上 国公立大学への実合格者の割合：普通科 40%以上 音楽大学、美術大学への実合格者の割合：芸術科 80%以上	普通科：91% 国公立：31% 芸術科：94%	A	普通科：東北2、東京、名古屋、大阪、九州、浜松医大医等合格した。特に運動部男子生徒の文武両道での進路実現する健闘が目立った。次年度の生徒募集に好影響を期待したい。芸術科：東京藝大、国立音、武蔵野音、桐朋学園、武蔵野美、静大等へ合格した。東京藝大見学の際には卒業生が本校生徒の案内を担当する。国公立の受験はセンター試験の結果で殆ど決まるので高校3年間の準備・努力できる指導体制づくりを行わなければならない。
ウ	中高が連携し、効果的な生徒指導を推進する。	年間の交通事故件数：中高とも0件	中：16件 高：14件	B	自損事故を含めて中高合わせて30件の事故報告があり、日常あらゆるところで指導を行ったが、PTAとの協力を一層充実させ事故減少に取り組まなければならない。
		「信頼できる先生がいる」と答える生徒の割合：中等部 70%、高校 70%	中：73.7% 高：70.5%	B	生徒個々の共有すべき情報等を情報交換会で実施したが、今後定期的に計画し、全職員の指導方針及び意思統一を図っていく。
		「相談室だより」及び「教員向け相談室通信」発行：年間計10回以上	月号で発行 現在まで8回	A	相談室だより等をとおして予防的な活動に取り組めた。「相談室だより」が確実に保護者に届くように徹底したい。

様式第3号

		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合：中等部 80%、高校 80%	中：83.9% 高：75.8%	A	スクールカウンセラーとの連携がとれ、問題を抱える生徒への早期対応、継続相談及び保護者の相談等、学校と家庭とのパイプ役になっている。人間関係が円滑に行くようにソーシャルスキルトレーニングを行い、トラブル等を発生しないように努めたい。
エ	学 校 行 事、生徒 会活動、 部活動等 の充実を 図る。	部活動に一生懸命取り組む生徒の割合：中等部 80%、高校 70%	中：91.1% 高：81.4%	A	中高一貫の部活動体制も考えながら、高校生が中学生を指導できる環境が成り立っている。生徒数、職員数に対し部活動の数が多いので、精選していく会議を進めている。より安全に充実した指導ができる環境づくりをしなければならない。
		地域に目を向けた教育活動の実施：年間5回以上	浜清掃、管弦楽地域3回、美術三保墨絵、商店街作品展示、介護施設訪問	A	本校ならではの特色を生かして様々な活動を実施した。三保松原のマラソン大会実施に伴い浜清掃を実施した。美術の授業で三保と富士山の墨絵や作品を商店街等で展示した。また地域の介護施設への訪問交流や地元小学校や病院での管弦楽部の演奏を通じて普通科や芸術科が一つと地域に目を向けた教育活動に取り組んだ。
		「学校が楽しい」と答える生徒の割合：中等部 80%、高校 80%	中：85.3% 高：78.8%	B	中高とも生徒会が充実しており、行事の準備段階から、ポスターやTシャツデザインのコンクールを実施した。体育祭では縦割りのチームで中高協力した。文化祭では中等部の「表現」授業発表と全校生徒が鑑賞するなど中高が一つになると、より多くの生徒とが、関わり積極的に参加ができるように学校が楽しくなる環境づくりを工夫していきたい。
オ	開かれた 学校づくり、 安心・安全の 学校づくりを 推 進 す る。	土曜オープンスクール参加者数：年間1,500人 ホームページアクセス：年間300,000件	1,754人 150万件超え	A	土曜オープンスクールの参加者が増えることで、学校をより一層理解してもらい、志願者の増加につながった。学校HPは「今日の南高」が毎日更新するので人気があり、150万件以上のアクセスを実現した。
		PTA 総会出席率：50%以上(中高共通) 地区会の出席率：50%以上(中高共通)	中：42.5% 高：41.1% 中：37.4% 高：30.9%	B	いずれも低い出席率である。平日開催が原因か、出席しなくても困らないということが原因か、検証する必要がある。形式だけでなく、参加して良かったと思えるような講演の開催等工夫する必要がある。
		実践的な防災訓練実施：年間3回 地域防災訓練参加率：中等部 55%以上、高校 35%以上	3回実施 中：69.8% 高：41.1% 防災頭巾 98%	A	津波避難階段の屋上避難は短時間で完了できるようになった。事前に告知しない、抜き打ちの防災訓練を実施し、授業中、部活動中、あらゆる場面を想定して実施できた。地域への参加率も中高生とも意識が高まり上がった。備蓄物の充実を図ることができた。今後、災害事が起きた時のイメージを持って備蓄物の配置場所や配布方法など情報共有したい。

様式第 3 号

		コンプライアンス委員会: 年間3回以上開催 不祥事根絶講話:年 間5回以上実施	委員会 2 回開催 管理職が職員会 議講話 6 回実施	B	どんなに回数をやっても、心に沁みこまない と、話をした直後にミスを犯すこともあり得 る。日常的な、職員間の人間関係を良好にし ていくことを含めて、講話等は継続していき たい。
カ	事務関係 業務の見 直しと改 善を 図 る。	学校経営予算の執行 残:10 万円未満	精査中(4 月中旬)	B	安全安心のために必要とするものや教育効 果が高いものを優先し費用対効果を勘案し て執行した。法令不適合部分についての施設 修繕はその都度改善したが、全般的な老朽化 対策が課題である。